

ICT通信



令和5年8月30日

No.9

ICT環境開発委員会
(文責 鈴木 瑞穂)

今回は、小野淳美先生の職業と生活での実践を紹介と、夏季休業中に実施したICT活用のための研修会について報告します。
今後も、先生方の実践などを学校全体で共有していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

Jam board の活用 (職業と生活)

食品群の図は、背景に設定して固定します。

黄色のグループ

3つの食品群

赤色のグループ

撮影したお弁当の写真を画像として挿入し、分類します。

バランスはよくない

緑色のグループ

参考:文部科学省発行 食生活学習教材 「食生活をきえよう」より一部変更

[Jam board 活用の効果]

- ・ 写真の操作がしやすく、生徒が積極的に操作することができていました。
- ・ 栄養のバランスが写真の配置として視覚的に理解しやすくなるので、バランスがよいか生徒自身で判断しやすくなりました。
- ・ 栄養バランスのイメージが定着し、緑のグループの食べ物が足りないことを自覚して、お弁当の野菜を残さないようになりました。

ICT活用のための研修会



今年度のICT活用のための研修は、プログラミング教育に関する内容で実施しました。

はじめに、プログラミング教育の意義、小・中・高における目的や学習内容について確認しました。

演習では、タブレット端末を使ってプログラミングの体験を行い、プログラミング的思考を働かせながら、課題解決に取り組みました。また、プログラミングロボット「フロロ」の体験も行い、プログラミング教育について理解を深める機会となりました。